

消防通信

No. 28

全力で その先へ 双葉消防！
(平成30年双葉消防本部スローガン)

発行日：平成30年7月1日
発行元：双葉消防本部 総務課
所在地：楡葉町山田岡字仲丸1-110

大規模林野火災対応訓練を実施

平成30年5月25日(金)川内村田ノ入工業団地内にて「平成30年度避難指示区域内における大規模火災対応訓練」を実施しました。

本訓練は、昨年4月に浪江町帰還困難区域内にて発生し、鎮火までに12日間を要した林野火災を教訓に、消防水利の乏しい帰還困難区域内で大規模な火災が発生したことを想定、遠距離大容量送水システム(水中ポンプ)を活用した消火用水の確保、ドローン(無人航空機)を活用し上空からの延焼状況確認の訓練を行いました。

県内外各消防本部、福島消防防災ヘリ、自衛隊、警察等多数の関係機関の参加もあり、実災害時の円滑な応援要請及び活動概要の確認をすると共に、大規模火災に対応するマニュアル整備等を行い、消防活動の充実強化に努めて参りたいと思います。



遠距離大容量送水訓練



福島県消防防災ヘリによる
空中消火訓練



県内外消防隊参集訓練



地上消火隊投入訓練

【予防業務優良事例表彰】を受賞

消防庁長官賞



平成30年5月31日(木)東京ビッグサイトにおいて、総務省消防庁による「第2回予防業務優良事例表彰式」が開催され、このなかで当消防本部が震災以降7年間に渡って取り組んできた【応急仮設住宅ふれあい巡回訪問並びに帰還者世帯訪問事業】が優良事例として認められ、消防庁長官賞を受賞することができました。

選考委員からは「広域避難者の多い中、粘り強い努力で応急仮設住宅や帰還者世帯への訪問を行い、住民への防災啓発を通じて見守りを実施していることは大変評価できる。予防効果の向上のみならず、コミュニティ(住民の絆)の活性化につながるすばらしい取り組みである。」とのコメントをいただきました。

救助隊、県大会に出場



引揚救助



ロープブリッジ救出



ほふく救出



平成30年6月27日(水)、福島県消防学校において「第41回福島県消防救助技術大会」が開催されます。この大会は、消防救助活動に不可欠な体力・精神力・技術力を養うことを目的とし、消防救助活動の安全性・確実性・迅速性を競うものです。

双葉消防本部救助隊は5月21日(月)に消防長査閲を実施、設定タイムをクリアした4チーム・15名が出場することになりました。現在、大会上位入賞を目指し日々訓練に励んでいます。

【出場チーム】

引揚救助 1チーム

ロープブリッジ救出 1チーム

ほふく救出 2チーム